

本のぽけっと

5・6年生に
おすすめする本

市川市立図書館

リターン！

山口理／作 岡本順／絵 文研出版



おれはイッキ。小学5年生だ。めんどくさいことはだいきらいで、休みの日はいつもごろごろしていたが、ある時仕方なく出かけた河川敷ではじめてブーメラン投げをしている人を見て、とても驚いた。投げだすと、ちゃんと自分の手に戻ってくる。おれはすっかり夢中になり、木野崎BCというブーメランのクラブにも入った。そのうち学校のクラスの班のメンバーも加わって、おれ、テッチ、チヂミ、モカの4人で大会の団体戦にでることになる。優衣とキャサリンはお手伝い。おちこぼれ班のおれたちだが、特訓を続けだいたい上達してきた。それなのに、チヂミが練習中に怪我をしてしまった。



アーベルチェの冒険

エレベーターにのって
ふしぎな旅のはじまり！

アニー・M・G・シュミット／作 西村由美／訳 岩波書店



アーベルチェは新しくできたデパートのエレベーター・ボーイです。開店1日目、お客をのせていそがしくエレベーターを運転していました。

エレベーターには、ただついているだけと言われたみどり色のボタンがありました。「あれを押したらどうなるのだろう」。気になっていたアーベルチェは、ある時そのボタンを押してしまいます。すると、エレベーターはデパートを飛び出して矢のような速さで大空へ飛び立ったではありませんか。

エレベーターにのって世界中を大冒険する旅の始まりです。人助けをしたり、革命にまきこまれたり。アーベルチェとお客の3人は無事にもとのデパートにもどれるのでしょうか・・・。

月の満ちかけ絵本

大枝史郎／文 佐藤みき／絵 あすなろ書房

どうして月は丸くなったり細くなったりするのでしょうか。この月の形の変化を「月の満ちかけ」といいます。そして、昔の人々は見るたびに姿を変える月に思いをこめてそれぞれの月に名前をつけました。

月の満ちかけの理由だけでなく、月にまつわる言い伝えや日食や月食について教えてくれます。日が暮れたら空を見上げてみましょう。



いろんな月を見てみよう



「希望」という名の船にのって

もりしたかつひと 著 きたむらさとし 画 ゴ布林書房

船生まれの子どもたちが
見たものは…?



宇宙船「希望」は「新しい地球」を目指して進んでいた。何世代にもわたって宇宙を旅するために、食料は内部の農場でまかなう構造になっている。地球のことを知らない「船生まれ」の子どもたちも多くなっていた。そのうちの一人であるヒロシは、旅の目的地はどこで、そこへの到着はいつになるのかという疑問を持つようになり、ある日船の科学者水沢博士のもとを訪れた。博士から、自らそれを確かめるようにと促されたヒロシは、子ども立入禁止の船のブリッジに向かう。ブリッジの窓から見たのは驚くべき光景だった。



ヘレン・ケラーのかぎりない夢

見る・聞く・話す・読む・書く・学ぶ夢に挑戦した生涯

ドリーン・ラパポート／文 マット・タヴァレス／絵 もりうちすみこ／訳 国土社

「闇と沈黙の中でわたしはひたすら想像力をはたらかせ、思考力をきたえました。かんじんなのは見える見えないではないのです」これはヘレン・ケラーの残した言葉の一つです。ヘレン・ケラーは1歳7ヶ月の時、高熱のため目が見えなくなり、耳も聞こえなくなりました。それからヘレンは、まっ暗な、音のない世界に住むことになったのです。7歳になるころ、サリバン先生が来て、ヘレンに指文字を教えました。ヘレンはそこで始めてことばがあるということを知り、希望をえて闇と沈黙の世界から解放されたのです。サリバン先生に支えられながら、ヘレンは自分の思いを伝え、話すことができるようになりました。そして、日本や世界中の国々を旅して、活躍していきます。夢の実現に向けて挑戦しつづけたヘレンの生涯を彼女のことばとともに紹介する伝記絵本です。



「本のぽけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。

年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で
かりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

